

# 議会だより

No. 145

3月定例会

■発行／八千代町議会

■編集／議会だより編集委員会

## 平成24年度一般会計予算総額68億5100万円を可決

平成24年第1回定例会は、3月8日から16日までの9日間の日程で開催されました。

この定例会では、町執行部より平成24年度当初予算をはじめ、平成23年度補正予算や条例改正など26議案が提案され、すべての議案を原案のとおり可決しました。一般質問は、3月15日に行われ、5人の議員が登壇し、町の方針をたしました。

### 可決した議案内容

#### ● 条例

◇八千代町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正  
スポーツ基本法に基づき「体育指導員」を「スポーツ推進委員」に改めるものです。

◇八千代町職員の給与に関する条例等の一部改正  
行政職給料表の6級制から7級制への改定及び平成23年度人事院勧告に伴い、平成17年度改正条例による経過措置額を2分の1に減額するものです。

また、42歳未満を対象に、給与構造改革期間中に抑制された昇給を、1号俸回復するものです。

◇八千代町固定資産税の課税免除に関する条例  
企業誘致を促すため、対象となる立地企業へ、3年間の固定資産税の課税免除を行う優遇措置を設けるものです。

◇八千代町公民館の設置、管理及び職員に関する条例の一部改正

第2次一括法により社会教育法で定められていた公民館運営審議会委員の基準が、文部科学省令を参考に町条例で定められるようになったものです。  
また、併せて貸出が可能になった会議室の使用料を設定するものです。

◇八千代町立図書館の設置、管理及び職員に関する条例の一部改正

第2次一括法により図書館法で定められていた図書館協議会委員の基準が、文部科学省令を参考に町条例で定められるようになったものです。

◇八千代町介護保険条例の一部改正

3年ごとに策定する介護保険事業計画に基づき、介護保険料の保険料率を改定するものです。

◇八千代町下水道条例の一部改正

下水道法施行令の改定に伴い排水基準の内、ジクロロエチレンを「0.2 mg以下」から「1 mg以下」に改めるものです。

#### ● 人事

◇選挙管理委員及び補充員の選挙について  
任期満了に伴い、次の方々が当選されました。

◎選挙管理委員（4名）

- 野村 健一氏（道前六保）
- 関 武芳氏（新地）
- 内藤 勝雄氏（下山川）
- 井上 信一氏（新井）

◎補充員（4名）

- 一、河口 忠之氏（川尻）
- 二、馬場 健章氏（水口）
- 三、安江 宣通氏（久下田）
- 四、稲村 信義氏（伊勢山）

#### ◆平成23年度補正予算◆

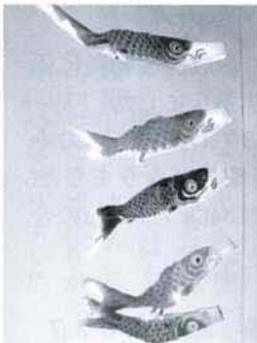
会計区分	3月補正額	補正後総額
一般会計	2億4,473万8千円	73億3,640万4千円
国民健康保険	1億2,763万8千円	30億1,667万7千円
後期高齢者医療	△700万6千円	1億4,592万2千円
介護保険	△452万8千円	13億7,138万円
区画整理	△1,038万円	1億852万円
農業集落排水	465万6千円	2億6,212万9千円
下水道	270万5千円	3億5,711万6千円
水道事業（支出）	△3,502万2千円	5億4,816万3千円

#### ● その他

◇町道路線の廃止と認定  
中央土地区画整理事業に伴い、若地内の町道1路線を廃止し、菅谷・若地内の町道6路線を認定するものです。

#### ◆平成24年度当初予算◆

会計区分	本年度予算額	前年度予算額	増減率：%
一般会計	68億5,100万円	68億6,600万円	△0.2
国民健康保険	27億3,611万円	26億5,803万円	2.9
後期高齢者医療	1億5,166万円	1億5,293万円	△0.8
介護保険	14億1,795万円	13億7,712万円	3.0
区画整理	1億4,160万円	1億1,150万円	27.0
農業集落排水	3億2,351万円	2億5,550万円	26.6
下水道	3億5,622万円	3億3,397万円	6.7
水道事業	5億9,919万円	5億8,515万円	2.4



# 一般質問



国府田利明議員

震災による特別交付金である市町村復興町づくり支援事業費交付金が、1億2千400万円交付されました。この一部を震災により被害を受けた、居宅修繕への見舞金か助成金として支給する考えがあるのか。また、今後の活用計画について伺います。

町長 見舞金や助成金を支給するのではなく、道路などの復旧や消防ポンプ車の更新事業、八千代第一中学校の設計等、復興に向けて有効に活用していきたいと考えております。

八千代高校北側で工事が中断している古河市分の道路について、その理由と開通の見通しについて伺います。

また、舟戸地内の畑幹線道路について、ほんの一部が開通されていない理由と、今後の開通における対策を伺います。

ます。

都市建設課長 古河市分の道路につきましては、平成22、23年度において事務レベルではございますが早期着手を申入れました。しかし、国道4号バイパスから名崎団地までの道路を優先的に進めており、現状では財政上も含めて、厳しいとの回答でした。今後も、引き続き早期着手を申入れています。また、早くとも思っています。

産業振興課長 畑総道路の開通部分につきましては、地権者との交渉を重ねてまいりましたが、同意が得られないまま、事業開始より20年以上経過し、他の工事を全て終了していたため、事業そのものを完了させなければならず、未開通部分を残し事業が終了した経過となっております。

町長 今後、整備する時には町の単独事業で行いたいと考えております。

近隣のほとんどの市町村が指定される中、当町が、特定被災地域公共団体及び特定被災区域のいずれにも指定を受

けなかつた理由と、今後、新たに指定される見込みはないのか伺います。

総務課長 指定要件には、震災時の震度が6弱以上、住宅の全壊戸数が一定規模以上等があり、要件に至らなかったため指定されなかつたと解釈しております。なお、両指定につきましては追加指定の措置もあり、状況等に変化があった場合には、早急に対応してまいります。



廣瀬賢一議員

当町において震災によるがれきの受入れを、平成23年9月まで行っていましたが、施工業者の都合により、いまだ修復されていない屋根瓦などが数多くあります。今後、町としてどのような対応を考えているのか伺います。

生活環境課長 環境省より、災害後落ち着いてからの瓦の葺き替え等により発生し

たがれき処理については、産業廃棄物として処理する旨の指導を受けており、すべて自己処理ということで町民の皆様方にはご理解とご協力をお願いしております。

当町において財源確保は重大な課題の一つであり、特に主要財源の確保として、町税はその根拠です。そこで、町税の滞納額及び収納状況について、また、町税確保への取組についてお伺いしたい。

税務課長 税金の未納のうち滞納繰越分については、調定額5億1千841万4千円に対しまして、収納額が1億122万1千円であり、現年度分については、調定額32億9千711万7千円に対しまして、収納額が30億7千521万2千円です。

滞納整理については、2月1日から15日にかけて、新たな滞納税の発生を抑えるといった滞納税削減の基本方針を基に、現年度分の未納を中心に、全職員で特別滞納整理を実施し、成果を上げてまいります。

高齢者世帯における孤独死

等の報道が増えてきている中、当町での民生委員の対応と今後の町の対応をお伺いします。

福祉保健課長 ひとり暮らし高齢者に対する町の施策として、安否確認を目的とした愛の定期便事業、病気のけが等の緊急時の対応を目的とした、緊急通報システム事業や救急医療情報キット配布事業等があり、いずれも民生委員の協力を得て実施しているものです。

町長 今後、様々な状況が考えられることから、ひとり暮らし高齢者に対する関わり合いを民生委員だけでなく、地域での支え合いや助け合いを大切に、高齢者が健康で安心して暮らせるような環境づくりを、今後とも進めてまいります。



緊急通報システム



小島由久議員

教育問題について、全国的に学力の低下が指摘されている中、県教育庁は、古河市に6年制の県立中等教育学校を開校すると発表しました。また、男女各60名の計120名を募集することです。これに伴い説明会が開催され、親子含めて1千800人以上の申込みがあり、当町からも四十四、五名が参加したと聞いております。そこで、中高一貫校、6年制教育について教育長はどのように捉えているのか、答弁を求めます。

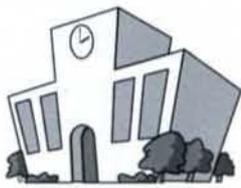
教育長 中等教育学校は中学校3年間と高等学校3年間でそれぞれ前期、後期に分けて教育を接続した新しいタイプの教育であり、学習面においては、中学3年生にあたる学年で、中等教育学校の利点を生かして、一般の高等学校の内容を一部先取りしての学習の展開、あるいは中学校と高等学校の連続性を生かした効果的

な学習活動を行うことができます。

しかし、卒業式や入学式、入試などの節目がないので中だるみする可能性も考えられます。また、学年によっては通学の負担が大きくなるなどのデメリットも考えられます。

中高一貫校教育、6年制教育に遅れを取らないため、当町の将来を担う、優秀な子ども達を育成するため、授業を放課後や土曜日に2時間程度実行してはどうかと思いますが、時間外の授業はできないのかどうか伺います。

教育長 当町での時間外の授業については、学習指導要領により、放課後に特定の授業を編成することはできないことになっておりますが、授業の内容が分からないところは、残して教えるということとは可能です。



新しい教育制度

日本教職員組合について、報道にあるようなことが起こり得るのか。また、どのような組織で、どのような活動をしているのか伺います。

教育長 全国の国公私立の幼稚園、小中学校、高校、大学の教職員を中心に組織している労働組合であり、主な活動内容としては、教育改革を含め教育予算の増額や勤務条件、福利厚生等があげられ、当町には、新聞等で報道されているような問題はありません。



中山勝三議員

中学校で武道が必修化されるということですが、当町では何に取り組むのか。また、道着は個人で購入するのか。そして、危険が伴う武道の授業において、指導する教員の研修体制や、町内の武道家の方々と連携していくことへの見解をお聞かせ願います。

学校教育課長 当町では、両

校男女とも柔道を選択しており、柔道着の貸出しにつきましては、衛生面等を考慮し、一中・東中とも個人で購入することで進めております。指導する教員には、

県主催の茨城県学校体育実技指導者講習会での武道指導のための実技研修に参加し、武道の指導についての研修を行っております。

今後、教育委員会・学校・地域の指導者等を交えまして、研修会等を推進しながら、連携を図っていききたいと考えております。



必修化された柔道

町上水道の放射能の検査体制及び結果について伺います。また、従来からの水質検査についてお尋ねします。

上下水道課長 福島第一原発事故に伴う水道水への影響につきましては、本年4月から暫定基準値が引き下げられますので、検出下限値

を現在の1kg当たり10ベクレルから、さらに引き下げて検査精度を確保し、安心安全な水道水の供給に努めてまいります。

従来からの検査につきましては、原水について、年1回鉄及びその他化合物等38項目について検査を実施しており、浄水につきましては、毎年、大腸菌や有機物などについて、月1回の9項目検査、年4回の25項目検査、年1回の50項目検査をそれぞれ実施しております。結果につきましては、すべて法定の基準値内でございます。

今後、大規模な地震が予想される中、自家発電装置を増設し、万が一の災害時に備えることについてお尋ねします。

町長 現在の財政状況をかんがみますと、非常用自家発電装置の増設につきましては、整備するのには大変難しい状況ではないかと思われまますのでご理解をいただきたいと思えます。

【その他の質問】  
○白菜キムチ鍋について



大久保敏夫議員

福島第一原発事故の影響による、風評被害として当町が東電、若しくは政府に請求した補償金について、どのように把握しているかお聞きしたい。

町長 町協議会が受付しました出荷停止による損害金額の状況ですが、ハウレンソウが9千652万5千546円、原乳が1千60万4千円、お茶が8千67万8千289円でございます。風評被害による損害金額は、白菜が7億5千311万9千454円、レタスが6億4千594万3千788円でございます。白菜、レタスの損害金額が農産物全体の約78%になっております。その他の品目の損害額につきましては、キャベツが6千143万5千842円、グリーンボールが4千953万2千962円、サニーレタスが3千858万6千595円、グリーン

カールレタスが3千783万4千12円などが主な被害の状況であります。

本年1月までに県協議会に報告をしております当町の請求金額は、JA報告分も含めまして、総額26億6千919万7千621円でございます。2月までに支払われた賠償金の総額は、23億7千681万2千442円で、支払率は89%になっております。

被災地において、いまだに撤去されていない震災がれきが存在しているが、当町においては、そのがれき受入れに対して手を挙げる気持ちがあるかどうかお聞きしたい。

町長 がれきの受入れについては、下妻地方広域事務組合で検討していきたいと思っております。私も受入れ態勢については復興支援の一つとして、個人的には受け入れる覚悟でございます。

憩遊館の温泉の湯湯ポンプ交換費用について、なぜ補正予算、あるいはまた違う方法の中での処理ではなく、新年度予算に計上されたのかお答えいただきたい。

町長 憩遊館の湯湯ポンプ交換についてであります。補正予算を組みましても、ポンプが外国製なので、納入まで6カ月かかるということもございます。専決処分等も検討してまいりましたが、やはり当初予算でということになりました。



進まないがれき処理

お知らせ

定例会の発言内容を、町公式HPの会議録で閲覧できます。なお、今定例会については5月中旬頃掲載予定です。



町公式HPトップページの「八千代町議会」をクリックし会議録に進んでください。

茨城県町村議会議長会表彰

2月14日に、茨城県町村議会議長会より、永年にわたる地方自治功労者として、当町議会の大久保武議員、相沢政信議員、生井和巳議員が議員12年以上在職者として表彰されました。



相沢政信議員 大久保武議員 生井和巳議員

矢中召二議員のご逝去を悼む



八千代町議会議員の矢中召二氏が3月18日、急逝されました。同氏は平成7年12月、町議会議員に初当選されて以来、連続5期、16年3カ月にわたり在職し、この間、議会運営委員長、建設常任委員長、総務常任委員長、副議長などの要職に就かれ、町行政の振興発展のためご尽力されました。八千代町議会は、同氏の生前のご功績を讃えるとともに、ここに謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

議事を傍聴しませんか？ 次の定例会は6月に行います。詳しい日程は5月末にホームページ等でお知らせいたします。 (一問) 議会事務局 TEL (48) 1111 (内線) 4110

東日本大震災から一年が経過しました。本定例会では、被災され犠牲になった皆様のご冥福を祈り、一分間の黙とうをささげました。